

避難供養碑

Av/Hs



自然災害
伝承碑



Ver.1(2022.3.1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県東筑摩郡朝日村

緯度・経度：北緯 36 度 6 分 8.8 秒

東経 137 度 49 分 32.5 秒

伝承形式：石碑・石塔・石仏

種類 / 要因：雪崩・雪害 / 豪雪・吹雪

災害発生：1933 年 (昭和 8 年) 3 月 16 日

建立時期：1993 年 (平成 5 年) 10 月

指定等：なし

周辺地形：山地・溪谷・河川

自然災害伝承碑掲載：令和 3 年 7 月 16 日

国土地理院サイト：<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>



観光情報はこちら

言い伝え・伝説

1933年(昭和8年)3月16日、度重なる大雪は人家を埋めつくすほどに達しました。突如として発生した雪崩れで、山中で製炭作業をしていた人々が一瞬のうちに生き埋めとなりました。救出も三昼夜に及んだものの6名が還らぬ人となりました。

周辺案内

遭難者の供養のために建立された慰霊塔の周辺には、中俣せせらぎ公園、野俣沢林間キャンプ場があって、家族や仲間の憩いの場になっています。また木曾義仲が木曾から長峰を経てこの地に着き、一の厩と呼んで後続部隊を待った所だという伝承がある義仲公園もあり、現在は祠が整備されています。